



7月18日スパイ防止法を考える映画と講演の集い

(アンケートから)

感想ノート

2026年7月25日発行 / ☎ 090-8701-6816

共催：ジャーナリズムを考える市民連絡会とやま シネ・ラ・セット 21

7/18 スパイ防止法を考える映画と講演の集い

日 時：7月18日(土) 13:30-16:00
会 場：サンフォルテ2階大ホール
参加費：1000円 / 高校生以下無料



第一部：ドキュメンタリー映画 ◆13:30～14:25
「レーン・宮沢事件」

第二部：講 演 ◆14:30～16:00
「スパイ機関創設とは何を意味するのか /
危険性と問題点」
講師・としまるさん (JCA.NET 理事)

共催団体：ジャーナリズムを考える市民連絡会とやま
シネ・ラ・セット 21 ☎090-8701-6816

映画（「レーン・宮沢事件」）

- ・映像が作られた年代を知りたいと思いました。国民全員をスパイ予備群と考えていたらしい戦前の当 ky 区の姿勢に怖ろしくなりました。もしかして今もそうなのか。
- ・いろいろ知識が増えました。
- ・証言が多く編成されていたが、当時の事実経緯の詳細が提示できないことが軍機保護法の恐ろしさなのかと感じた。当時は国内に多くの外国人教師がいたのに、なぜ彼らだったのか？知りたいと思った。
- ・大変なことでした。一人の希望ある青年を国家が殺しました。こういう事態をおこさないような行動を起こさないといけないと思います。
- ・今回の開催情報を数日前に知ったので、レーン・宮沢事件も調べることができずよくわからなかった。
- ・知らなかったことを知ることができてよかったです。同じように苦しんだ人、苦しんでいる人がいると思うからです。

講演 「スパイ機関創設とは何を意味するのか」

- ・慣習を変えること、すごく難しいです。でもやらないといけないのだと思う。
- ・映画のことスパイ防止法のことを沢山わかりやすい表現で話していただきました。とても多くのことを学びました。
- ・使い慣れているアプリを変えるのは大変だと思いました。資料を沢山ありがとうございました。離島の住民からの情報収集を企画して衛星通信を推進しているとは思えませんでした。
- ・現在の政府も戦時中と同じだと思う。政府に都合が悪い人物＝スパイと定義している。日本はずっと前から C I A やモサドなどの外国のスパイに支配されていると思う。配下の NHK を含めてマスコミ自身がデマを垂れ流している。情弱の国民はボケているため騙され続けていると思います。高市首相が軍需テック企業パラノイアと提携して、自衛隊情報を共有するので、自衛隊が米軍の手下として利用されようとしていると感じる。イーロンマスクのスターリンクがもてはやされているのはこわいと思った。
- ・最近日章旗関係の法律が通過したが付帯事項に表現の自由を縛らないと書かれたが、これがほとんど効果がないことが分かった。今の政権を続ける限り、戦前の軍国主義の再来も許すことになるのか！？
- ・沈黙を美化とする文化、政治を語らない文化。日本文化の賞賛。日本人の優秀さの強調が慣習になっている。それを変えることが難しいに納得だが、負けてはいられない。知ることの大切さをまた、学んだ。いかなる戦争も不合理に大賛成。
- ・ラインがスパイになる？こわい。
- ・いかなる戦争は不合理。企業の問題、etc、一つひとつ考えなければならない。戦争と関係ない文化を作っていかなければならない。

スパイ防止法はじめ、わかりやすく説明をしていただきありがとうございました。コロナ禍、様々な戦争、情報操作（分極化）どれもばかばかしいくらい国民をデータ化する道具と見え、無関心な国民性ゆえ、がっかりしていました。今からでもできる具体策など優先順位を見直すお考えに勇気づけられました。ありがとうございました。

Google や Lin e のない生活は難しいですが、なるべく使わないようにしようと思いました。